

人間学研究所 事業報告

(1996年度～1999年度)

I. シンポジウム

第一回 1996年10月15日

テーマ：「贈り物の人間学」（開学記念シンポジウム）

パネリスト：河合隼雄（京都大学名誉教授、本学学術顧問）

樋口和彦（同志社大学教授〔当時〕、現本学学長）

司 会：別府春海（本研究所所長）

第二回 1997年12月11日

テーマ：「グローバル化する日本の宗教」

モデレータ：別府春海（本研究所所長）

パネリスト：井上順孝（國学院大学日本研究所所長）

ウエンディ・スミス（国立民族学博物館客員教授（当時）・豪モナーシュ大学経営
学科上級講師）

中牧弘允（国立民族学博物館教授）

宮永國子（国際基督教大学社会科学研究所研究員）

第三回 1998年3月14日～15日

テーマ：「変貌する現代日本」

モデレータ：別府春海（本研究所所長）

パネリスト：J. クラマー（上智大学）

M. ジョリヴェ（上智大学）

B. マックヴェイ（東洋学園大学）

W. ハーバート（筑波大学）

H. モースバッハ（滋賀大学）

U. モーバルト（中部大学）

A. リースランド（慶應大学）

H. ベフ（本研究所所長）

T. ギル（本研究所研究員）

J. デイヴィス（スタンフォード大学）

J. ロバーソン（武蔵野女子大学）

J. イーツ（滋賀大学）

第四回 1999年3月7日～9日

テーマ："The Place of Japan in Globalization Theory"

モデレータ：別府春海（本研究所所長）

パネリスト：M. フェザーストン（ノッティンガムトレント大学）

U. ハネルツ（ストックホルム大学）

B. モーラン（コペンハーゲン経営学大学院）

E. ベン＝アリ（ヘブライ大学）

第五回 1999年4月30日

テーマ：「生命のリズム」

モデレータ：別府春海（本研究所所長）

パネリスト：鶴見和子（上智大学名誉教授）

上田敏（平成帝京大学教授）

道浦母都子（歌人）

西川千麗（舞踊家）

高橋千鶴子（人形作家）

中村桂子（生命誌研究館副館長）

第六回 1999年6月19日

テーマ："Forms of Creativity"

モデレータ：別府春海（本研究所所長）

パネリスト：鶴見和子（上智大学名誉教授）

D.ウェッセルズ（上智大学教授）

R.モース（麗澤大学教授）

川勝平太（国際日本文化研究センター教授）

D.ラミス（津田塾大学教授）

T.ギル（本学助手）

II. 講演

第一回 1996年12月19日

「日本文化の中の人と人」北山修（九州大学教授）

第二回 1997年7月10日

「現代日本における女性と女性運動」ロイス・W・バーナー（南カリフォルニア大学）

第三回 1997年10月31日

「二十一世紀の人類像」梅棹忠夫（国立民族学博物館顧問、本学学術顧問）

第四回 1998年10月12日

「人間性の三次元ー特に「悪」についてー」星野命（本研究所客員研究員）

第五回 1998年10月14日

「ナラティブ・セラピーについて」野村直樹（名古屋市立大学）

III. 公演

第一回 97年10月1日

「インド古典舞踊ーオデッシー・ダンス」（高見麻子氏）

共催：文化人類学科

第二回 97年12月8日

「エチオピア民族舞踊」（クイーン・シバ芸術団）

共催：文化人類学科

協力：エチオプスアート日本委員会

IV. 共同研究

〈1996年度～1998年度〉

* 「宗教と癒し」研究会

(共同研究者)

文化人類学科：上田富士子・大橋亜由美・E.キング・谷口裕久・中山紀子・安田ひろみ

臨床心理学科：生駒孝彰・高田夏子・滝口俊子・鶴見太郎・豊田園子・平岡聡・L.ボンド・森忠三・B.リネール・藤井則彦

* 「ジェンダー」研究会

(共同研究者)

文化人類学科：上田富士子・鶴飼正樹・遠藤央・大橋亜由美・T.ギル・白石さや・杉本星子・鈴木七美・谷口裕久・中山紀子・西川祐子・安田ひろみ

臨床心理学科：岡田珠江・荻野美穂・清水佐保子・吉沅洪・鶴見太郎・豊田園子・L.ボンド
短 大：小河尚子
学 外：春日キスヨ・中谷文美

* 「脳とところ」研究会

(共同研究者)

文化人類学科：奥野克己・日野克美・E.キング

臨床心理学科：秋田巖・生駒孝彰・清水佐保子・名取琢自・平岡聡・L.ボンド・森忠三
短 大：安本義正

* 「パフォーマンス・アナリシス」研究会

(共同研究者)

文化人類学科：石川真作・鶴飼正樹・遠藤央・大杉高司・金基淑・小林康正・白石さや・杉本星子・日野舜也・細谷広美・松田凡・西川祐子

臨床心理学科：今井暁式・高石浩一・名取琢自

本学事務局：荒木浩一郎

* 「佛教説話と臨床心理学」研究会

(共同研究者)

臨床心理学科：高石浩一・平岡聡・秋田巖・鶴見太郎・B.リーネル
学 外：太田清史・阿満利磨

* 「文化と人間研究の地平を越えて」

(共同研究者)

文化人類学科：大杉高司・小林康正・谷口裕久・橋本和也・細谷広美

臨床心理学科：香川克・高田夏子・名取琢自

〈1999年度〉

* 「脳とところ」

1997年度からの継続

* 「京都論：その多文化的側面から」

(共同研究者)

文化人類学科：石川真作・鶴飼正樹・遠藤央・大橋亜由美・金基淑・T.ギル・小林康正・杉本星子・竹内裕子・西川祐子・橋本和也・日野舜也・森正美

臨床心理学科：秋田巖・荻野美穂・高石浩一・竹口等・鶴見太郎・豊田園子・樋口和彦・平岡聡

学 外：中谷文美

* 「家族を考える」

(共同研究者)

文化人類学科：上田富士子・大橋亜由美・奥野克己・金基淑・鈴木七美・竹内裕子・谷口裕久・
古川まゆみ・松田凡・森正美・安田ひろみ

臨床心理学科：秋田巖・今井暁式・禹鍾泰・岡田珠江・香川克・吉沅洪・高石浩一・高田夏子・
滝口俊子・豊田園子・名取琢自・森谷寛之

学 外：中山紀子

* 「生と死をめぐる学際的研究」

(共同研究者)

文化人類学科：青柳清孝・綾部恒雄・大橋亜由美・奥野克己・E.キング・田中真砂子・
谷口裕久・細谷広美・安田ひろみ

臨床心理学科：秋田巖・生駒孝彰・酒木保・成山公一・平岡聡・L.ボンド・森忠三

V. 海外研究調査助成 (1996年度)

・ 禹鍾泰

「韓国の隠れキリシタンにおける聖書物語の改変に関する臨床心理学的研究」

・ 岡田珠江

「アメリカにおけるスクールサイコロジストの現状を調査し、日本におけるスクールカウンセラーの可能性を探索する」

・ 荻野美穂

「アメリカ合衆国におけるジェンダー研究状況の視察、および中絶論争に関する調査と資料収集」

・ 吉沅洪

「異文化適応に関わるビリーフ・システム及びアイデンティティについて」

・ 白石さや

「戦後二本のマンガ・アニメのグローバル化の研究」

・ 谷口裕久

「タイ都市近郊農村におけるシャーマニズム的实践に関する研究」

・ 成山公一

「パフォーマンステストに应用できる『発育速度判別基準指標』の作成」

・ 西川祐子

「アメリカ合衆国におけるジェンダー研究状況の視察、および近代家族国際比較に関する調査と資料収集」

・ 日野克美

「日英教員養成比較」

・ 安田ひろみ

「全麗南道・珍島色における諸宗教の混在状況に関する調査」

VI. 刊行物

『〈共同研究〉男性論』西川祐子・荻野美穂編 1999年10月 人文書院

Ⅶ. ニュース・レター

- ・ Vol. 1, Issue 1 (1998年3月10日発行)

「私の学問遍歴」(滝口俊子、日野舜也) など

- ・ Vol. 1, Issue 2 (1998年11月11日発行)

「私の学問遍歴」(西川祐子、豊田園子)、書評: 高石浩一著『母を支える娘たち』 など

- ・ Vol. 1, Issue 3 (1999年8月10日発行)

「私の学問遍歴」(高山龍三、森忠三) など

Ⅷ. 紀要

『人間学研究』(本号)